

## ○選択必修領域

## 学校をめぐる近年の状況変化とそれに対する学校の組織的対応

講習番号	選必-2
講習名	学校組織の変化と教員の働き方を考える
ビデオ視聴日程	8月3日(月)～8月7日(金)
時間数	6時間(講習番号「選必-1」～「選必-4」の全講習の受講が必要)
受講料	6,000円(「選必-1」～「選必-4」の全講習分)
担当講師	広瀬 義徳
募集人員	100名
概要	OECD や文科省による最新調査でも日本の教員の多忙な勤務実態が示され、教員の働き方改革が課題となっています。2019年12月には給特法が一部改正され、変形労働時間制の導入が決まりました。今回は、教員の働き方にかかわる給特法等の制度や教職員配置の政策動向について概観した上で、効果的でバランスのとれた学校の組織運営を目指しながら、各現場に応じて部活動改革、休憩・休日の確保や研修の精選、多職種間の連携・協力等に取り組みつつ、学校教育をシフトダウンしていく道筋を考えます。
キーワード	「給特法」、「教職員定数の改善」、「学校のタイム・マネージメント」、「教員のワーク・ライフ・バランス」、「変形労働時間制」
受講者へのメッセージ	いま学校では組織のマネージメントを強化し、教員は自らの働き方を改革することが求められています。それは既存の法律や政策だけでなく日常的な仕事の意識や行動を問い直すことでもあります。精神疾患の病氣休職者が年間5000人水準で高止まりし、教員の過労死・自殺が発生する中、学校組織の在り方や教員の働き方をワーク・ライフ・バランスの観点から捉え返しましょう。
主な受講対象者	